

宅地内漏水減免制度

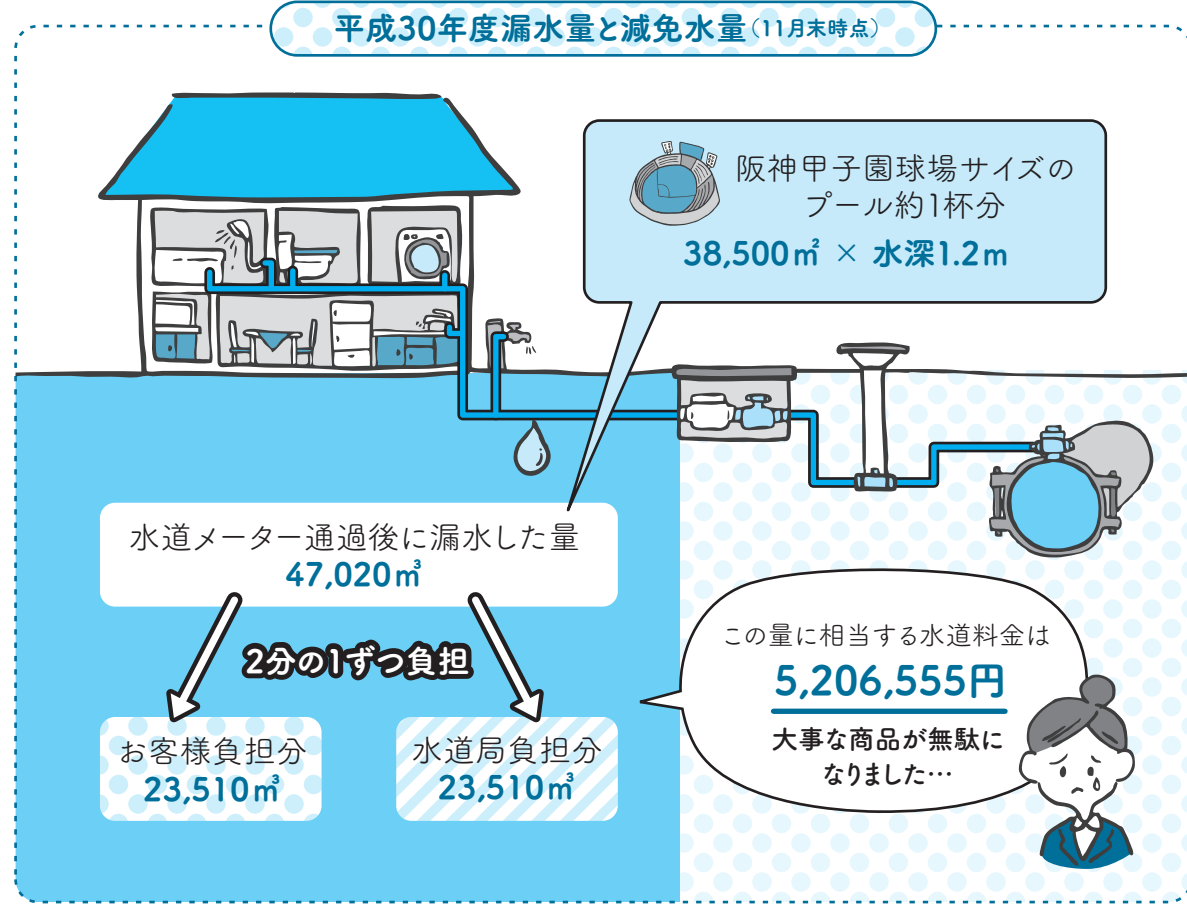
水道料金の減免制度

今年度11月末現在の漏水件数は414件で約4万7千m³の水が漏水により失われました。

漏水修理後、修理業者から水道局に「漏水修理完了報告書及び減免申請書」が提出されますので、漏水内容・漏水量や漏水箇所等を確認し、一定条件を満たした場合に水道料金が減免となります。

ただし、減免が認められても漏水した水量の半分に相当する水道料金はお支払いいただくことになります。減免してもなお請求額が高額になった場合でも、それ以上の減免はできませんのでご注意ください。

また、1件の漏水で減免対象となるのは1請求分のみとなりますので、漏水が判明したら速やかに修理を依頼してください。



減免対象にならない漏水

- 蛇口の閉め忘れやイタズラなど使用者の管理に起因する場合
- 水栓トイレ、給湯器、蛇口等の漏水
- 床下の配管、壁の中の配管の漏水
- 受水槽等のタンクの漏水
- 過去6カ月の平均水量と比べ、水量の増加が無い場合

地中漏水以外の漏水は、減免対象外となります。

漏水の原因

- 鉄管の腐食やビニール管等の亀裂などの水道管の老朽化
- 振動等による継手部分のゆるみやパッキン類の劣化
- ビニール管の接着不良・継手の閉め忘れ等の施工不良
- 凍結による破損
- 木の根の成長による水道管の圧迫

漏水の兆候

- 以前と比べて水道料金が高い
- 地面や壁が常に濡れている
- 壁や床にシミやカビができている
- 水道の水圧がいつもより弱く、水の出が悪い
- 壁や蛇口から「シュー」と水の流れる音がする
- 水栓トイレの水が少しずつ流れている
- 水道管の接続部分から水が垂れている

漏水事故を防ぐために…

- ①日頃から水道メーターの動きに注意する
- ②古くなった水道管は、漏水がなくても、管の交換や補強をする
- ③家の建替時やリフォームの際に管の引き直し工事を行う
- ④凍結破損を防ぐため、水道管やメーターの防寒対策をする

「うちはまだまだ大丈夫」と思いがちですが、築30年を超えた建物では、漏水の可能性が高まっています。

また、漏水した管を部分的に修繕しても、後日別の箇所でも漏水が発生することがあります。老朽化が原因で修繕した場合、同時期に布設した別の管も同様に老朽化が進んでいきますので、部分的な修繕ではなく、全体的に引き直すことをおすすめします。

漏水の確認方法

水道メーターには、指針を示す数字のほかにパイロットと呼ばれる、水の流れを受けてクルクル回る部分があり、これを確認することで、誰でも簡単に漏水を発見することができます。



パイロット
少しでも動いていれば、漏水の可能性がります

部屋に水があふれ出るような漏水が発生すれば、早く気付くことができますが、水道管は目に見えない部分が大抵を占めています。地面の下で水が大量に漏れているにもかかわらず、検針するまで気がつかなかったというケースが多く見られますので定期的にもーターを確認する習慣をつけましょう。

問 経営企画課

浄水場紹介コーナー

橋立浄水場



給水開始 大正13年11月1日

水源 橋立川、浦山川の表流水

浄水能力 18,000m³/日

浄水方法 緩速ろ過＋急速ろ過

配水方式 自然流下

今年で95才。阪神甲子園球場と同じ年です。埼玉県下で一番古い浄水場で、現在改修を進めています。主に影森地区の皆様にご利用いただいておりますが、将来的には高篠地区や横瀬地区、三沢地区にも配水する計画です。

これら広域化事業には、県の補助金が交付されるため、水道料金の高騰を抑制できます。



浄水場の場所は、上記コードからマップでチェック!!

問 浄水課

広告

地域密着 任せて安心
**安心・安全な水道を
応援します!**

秩父広域管工事業協同組合
(地元指定業者38社加盟)
お気軽にご相談ください。
☎0494-24-9565

広告募集…

水道だより

広告を載せてみませんか、5月発行の広報紙「水道だより」に、お店や会社などの有料広告を募集しています。ぜひお気軽にご相談ください。

配布エリア・発行部数

秩父地域全域
1号あたり 41,000部発行

申込締切日

平成31年3月22日(金)まで

※詳細については、経営企画課までお問い合わせください。

広告掲載料

「水道だより」
発行1回あたり

1枠広告
…(1段落の3分の1相当)
15,000円 税込み
(縦65mm、横84mm)

問 経営企画課

受賞の知らせを聞いた時の気持ちを教えてください。また、水への関心はいつ頃からありましたか?

「第60回水道週間懸賞募集」作文の部」及び「第40回全日本中学生の作文コンクール」の二つのコンクールにおいて、尾田時中学校三年生、大澤百恵さんの作文が入賞を果たしました。水に関する全国規模の作文コンクールでの受賞は類を見ないことです。そんな偉業を達成された大澤さんにお話を伺ってみました。



受賞者インタビュー 大澤 百恵さんがW受賞達成!

なかつたので、とても驚きました。「自分の考えが他の人に伝わったんだ」と思うとすごく嬉しかったです。

—— 作文の中では水道管の更新工事の問題に触れ、一人一人がこれからの水道を真剣に考えることが必要だと主張されていますね。

先日、東京に住む祖母が家に来た際、水道水を「とてもおいしい」と言っていて飲んでいました。それを聞き、今の水に関わる環境は貴重で素晴らしいものなのだと改めて感じました。水道から水が出ることは、決してあたり前ではないというのに気づき、私たちが水道を守っていく意識を持つことが必要だと思いました。

「水道だよりはよく拝見しています」と答えてくれた大澤さん。好きな教科は国語と英語とのこと、文章の構成力はもとより、感性の豊かさや、水道に対する意識の高さに脱帽しました。今後大澤さんのご活躍をお祈りしています。

問 経営企画課

※日本水道新聞社提供
※もみっくは水局HPでご覧いただけます